

会 議 録

会議名	山形市総合教育会議
開催日時	平成28年8月2日(火) 14:00～15:30
開催場所	山形市役所3階 庁議室
出席者	佐藤孝弘市長、荒澤賢雄教育長、須賀まり子委員、無着道子委員、金村勲委員、徳永正靱委員
(陪席)	岩田雅史総務部長(欠席)、庄司新一企画調整部長、小野徹子育て推進部長
(事務局)	阿部謙一教育部長、高橋勇管理課長、鈴木一尋学校教育課長、佐藤雅俊社会教育青少年課長、石川一幸スポーツ保健課長
協議事項	山形市教育等の振興に関する大綱案について

会議経過

1. 開会 高橋管理課長
2. 挨拶 佐藤市長、荒澤教育長
3. 協議事項 座長 佐藤市長
(1) 山形市教育等の振興に関する大綱案について 阿部教育部長より説明

① 大綱案に対する意見

佐藤市長

- ・山形市教育基本計画に定められた基本理念に基づいているだけでなく、グローバル化という時代に対応した教育づくりへの言及がなされている事は非常に意義がある。
- ・親の目が届かない所で、子どもたちがインターネットを通じて様々な情報を得ている状況がある。地域コミュニティの力を教育に活かすという点で基本方針4の「地域の連携・協働」は重要であると考えます。

荒澤教育長

- ・基本理念に基づき、郷土や伝統を理解し山形の良さを語れる子どもを育てていくことが大切である。また大綱の作成にあたっては学校教育の最終目標である良き公民、良き山形市民を育成したいという思いを反映させた。
- ・基本方針3の「地域の特長」を「地域の良さ」・「地域の魅力」に変更してはどうか。
- ・基本方針4に関しては家庭の教育力の向上が現在の大きな課題であると考えている。特に家庭と学校と地域の連携の中で互いの教育力を高めていく必要がある。

須賀委員

- ・分かりやすい言葉で、誰が読んでも同じように理解できる大綱にしてほしい。
- ・記載されている内容はすべて教育に関する事なので、曖昧な表現は避け「等」を削除したほうがよいのではないか。
- ・分野2の見出し「教育力の向上と教育環境」を「家庭での連携と教育環境」に修正してはどうか。
- ・基本方針5は「安心・安全」という言葉が重複しているため、「安心して子育てができる環境の充実」などシンプルな表現にするのが好ましい。また「だれもが」と「生み」は削除したほうがよい。
- ・「生涯を通じた学び」「スポーツ」「文化芸術」という言葉が重複して使用されているので基本方針6、7を一つにしてはどうか。文末は「人財育成と環境づくりの推進」にまとめられると思う。
- ・特別支援（発達障がい不限定）に関する記述を設けてほしい。特別な支援を要する子どもは学校での支援に限らず、就学前や社会に出た後の支援も必要である。自分と違う人を認め、受け入れ、支え合える社会の形成には教育面での支援が不可欠である。

無着委員

- ・「等」は不要ではないか。
- ・基本方針4に「それぞれの役割を果たしながら」という文言を加えてほしい。
- ・特別支援に関する記述が加わるとよい。

金村委員

- ・構成に関して4、5の分野と6、7の分野を入れ替えたほうがよいのではないか。
- ・分野の表現を統一したほうがよい。（例えば名詞で統一するならば「学校教育」「家庭教育」「社会教育」とすべきであるし、「教育力の向上と教育環境」のように具体的に表現するのならば、「将来を担う学校教育」「個性を活かす社会教育」などとし整合性を持たせるべきである。）
- ・「等」を削除すべきである。
- ・基本方針と説明文の言葉の重複を避けたほうがよい。

徳永委員

- ・大綱案に教育現場の問題が含まれていない。大綱に記載するかどうかは別として、教師の過重労働やいじめ、体罰の実態も論ずべきなのではないか。

② 修正案

【タイトルに関して】

・「等」の削除について

佐藤市長…「等」へのこだわりはあるのか。教育を広く捉えたいということなのか。

阿部部長…大綱案には子育てや芸術、文化など様々な内容が含まれているため「等」という言葉を入れたが特にこだわりはない。「教育」だけでも充分だと思われるので「等」は削除してもかまわない。

・タイトルを短くすることについて

佐藤市長…他市はどのようなタイトルを付けているのか

阿部部長…「教育の大綱」、「教育・学術・文化の振興に関する施策の大綱」、「教育の振興に関する大綱」など様々である。

荒澤教育長…山形市教育大綱はどうか。

佐藤市長…山形市教育大綱がシンプルでよいと思う。

【内容に関して】

・基本方針4、5と6、7の順番を入れ替えることに関して

佐藤市長…記載の順番に対する考え方はあるのか。

阿部部長…まず教育の大前提である学校教育を最初に挙げ、次に学校教育を下支えする地域及び家庭教育に関する記載をした。そして最後に幅広い活動を含む社会教育に関する内容を記載した。

・基本方針と説明文の言葉の重複を避けることについて

佐藤市長…多少長くなったとしても説明文を削除し基本方針だけにするのはどうか。

金村委員…基本方針と説明文を合わせ、ひとつにまとめるのもよい方法だと思う。

・基本方針6、7をひとつにすることについて

佐藤市長…6、7の分野がひとつになれば分野わけの必要性はなく、全体もシンプルになるのではないか。

荒澤教育長…分野で区切らないのはよい方法だと思う。たとえば特別支援に関する内容は学校教育にかかわらず、あらゆる分野にまたがっているため、どの分野にいれるべきか選択が困難である。したがって分野わけをなくすのはいい案だと思う。

佐藤市長…それでは特別支援に関する記載を加えた上で、分野はなくし基本方針をひとつずつ並べる形で進めていきたいと思う。

・基本方針3の「特長」を「良さ」や「魅力」に変更することに関して

佐藤市長…「良さ」が分かりやすくよいと思う。

- ・基本方針4に「幼稚園・保育所・学校がそれぞれの役割を果たしながら」という文言を加えることについて

佐藤市長…文言を加えることを検討したい。

須賀委員…家庭での教育を強調させるために、「家庭と幼稚園・保育所・学校、地域との連携・協働」という表現に改めてはどうか。

佐藤市長…検討していきたい。

- ・基本方針5の内容に関して

佐藤市長…「安心して子育てができる環境の充実」に改め、安全・安心という言葉の重複を避けるように修正していきたい。また子どもを「生み育て」の「生み」は少子化対策にあたるため削除したほうがよいと思われる。

4. 閉会 高橋管理課長